

太宰府市総合戦略推進委員  
筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 准教授

おおにし りょう  
**大西 良さん**



はじめに私が経験したエピソードをご紹介します。

私がスクールカウンセラーとして勤めていた中学校で、ある生徒との出会いがありました。ある日、彼がつぎのようなことを話してくれました。

「先生、ぼくは中学校の3年間、最後までサッカーをしたかった。でもそれはできなかった。中学2年生の時、顧問の先生に『サッカー部の友達との人間関係が嫌で部活を辞めます』と伝えて退部したけど、本当の理由は、家にスパイクと練習着を買うお金がなかったからなんだ。仕事を頑張っているお母さんにこれ以上お金のことで負担をかけたくなかった。誰にも相談できなくて、結局、顧問の先生に嘘をついて辞めたんだ」

現在の日本は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰によって経済が大幅に下押しされ厳しい状況にあります。こうした不安定な社会情勢から生じる貧困によって生きづらさを抱き、多くの傷つきを経験しながら暮らしている子どもたちがいます。

まさに今、市民一人ひとりの貧困に対する関心と行動、そして社会のあり方が問われていると思います。

微力ではありますが、私自身も太宰府市の子ども福祉の向上に貢献していきたいと思っています。

## 特集

### 【表紙関連】

市制施行40周年記念式典開催  
..... 2~6

福岡県議会議員選挙のお知らせ  
..... 11

年度末・初めの休日窓口サービス  
..... 12~13

新型コロナウイルスワクチンの  
接種について..... 14

太宰府市長寿クラブ連合会の  
紹介 ..... 15

市からのお知らせ..... 16~17

連載 ..... 18~27

なんでも情報コーナー  
..... 28~35

太宰府の文化財 ..... 36

# 市政ニュース

## 高校生の活躍

### みんなの冷蔵庫in太宰府プロジェクト

福岡農業高校3年生の伊東風花さん<sup>いとうふうか</sup>が、家庭などで余っている食材を持ち寄り必要とする人に自由に持ち帰ってもらう「みんなの冷蔵庫in太宰府」を実施しました。

この取り組みを応援するために市職員から集めた食材などを楠田市長が代表して2月4日(土)、寄贈しました。

伊東さんは以前「子ども・学生未来会議」に参加した縁で、楠田市長にも事前に相談の手紙を送るなど積極的に準備を重ね、県の「高校生チャレンジ応援プロジェクト」の採択・助成を受けてプロジェクトを実現しました。

伊東さんは「このような取り組みが広がり、いずれは冷蔵庫がなくても助け合うのが当たり前の中になってほしい」と話しました。



みんなの冷蔵庫(写真左:伊東さん)へ食材を寄贈する様子

## 教育・子育ての充実

### 中学校給食新調理場建設の地鎮祭に参列

本市待望の中学校完全給食実施に向け、1月26日(木)に行われた新調理場建設の地鎮祭に楠田市長が参列しました。厳かな雰囲気の中、建設工事の安全を祈願しました。

本年秋頃には(株)日米クックの新調理場が本市水城に完成、現在稼働している調理場から移転し、来年1月からいよいよ全員喫食の中学校完全給食がスタートします。



地鎮祭の様子